



FUKUOKA NEWS

「チーム福岡」福岡県選手団サポートニュース

10月9日 Vol.21

“TEAM FUKUOKA” 8位を維持!

ゴール前での逆転劇 優勝!

「準決勝での調子良かったので、(決勝では)最後の直線勝負にかけようと思った。狙い通りのレースができた」と、藤好駿太選手(修猷館高)は胸を張った。

ゴール手前で北海道の選手を抜き、少年男子A400mを制した。インターハイで決勝に残れなかった悔しさを晴らした。



【藤好選手の走り】

【藤井選手(左)と藤好選手】

成年女子5000m競歩

大会新 & U20日本記録更新!

「想定通りのレースができた。最低でもU20の記録を更新したかったので、満足です」と、笑顔で話した藤井菜々子選手(エディオン)。成年女子5000m競歩において、藤井菜々子選手(エディオン)が2位入賞し、昨年の愛媛国体で自身が打ち立てたU20日本記録を約9秒上回る21分24秒40という新記録を樹立。このレースでは、リオデジャネイロ五輪を経験し、今年のアジア競技大会で銅メダルを獲得した岡田久美子選手(埼玉県)が優勝。2位の藤井選手とともに大会新記録となった。伸び盛りの19歳 藤井選手に2020東京への道が開けてきている。

男子4×100mR 最終日の決勝へ! (準決勝のタイムは全体の3番目)

8日の準決勝では、(結果的には1番速い組だった)第2組の3着となるも、東京都、広島県に次ぐ3番目のタイムでの決勝進出となった。準決勝トップタイムの東京都との差はわずか0.10秒。国体最終日の最終レースに注目したい。【準決勝走順:①竹下(住友電気工業)②大瀬戸(安川電機)③山本(東福岡高)④重谷(九産大九産高)】

柔道少年男子5位入賞!

8日、柔道少年男子チームが登場。1回戦の地元福井県戦、2回戦の大阪府戦と、ともに勝利し、準々決勝で千葉県と対戦。0-2と苦しい展開で迎えた副将戦。森 健心 選手(大牟田高)が果敢に攻め、残り1秒で相手に3つ目の指導が入り、勝利。続く大将の中西一生選手(福大大濠高)が攻撃するも相手選手に上手く捌かれて引き分け、ベスト4を前に、ライバル県千葉に敗れた。



【森選手(左)の試合の様子】

8日のその他の入賞者

★陸上競技

- ・少年男子共通5000m競歩 5位
阿座上 朝輝 選手
(九州国際大学附属高)
- ・少年女子共通やり投 6位
河田 菜緒 選手(中村学園女子高)

★アーチェリー競技

- ・少年女子団体 8位
矢原 七海 選手(柏陵高)
- 野田 紗月 選手(折尾高)
- 奥村 萌香 選手(柏陵高)

★ウエイトリフティング競技

- ・少年男子105kg級スナッチ 4位
・少年男子105kg級
クリーン&ジャーク 5位
今西 凌大 選手(八幡中央高)

国体の情報については、大会ホームページ (<http://fukui2018.pref.fukui.lg.jp/>) より、ご覧ください。
※Facebookにおいても情報発信を行っています。「ふくおかスポネット」で検索してご覧ください。

【発信元】福岡県立スポーツ科学情報センター スポーツ推進課 企画情報係